

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)						
研究番号	2025-0057	主たる研究機関	滋賀大学		分担研究機関	なし
研究題目	味蕾関連遺伝子多型が処方変更に与える影響の解明			研究期間 (西暦)	承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日	
実施責任者	大西 龍貴		所属	データサイエンス・AIイノベーション活用推進センター	職位	特任助教
研究目的と意義	【研究目的】味覚に関する遺伝子が薬の服用に与える影響を調査します。 【意義】薬の服用の個体差に関連する遺伝子がわかると、適切な薬の選択や服薬支援につなげることが期待されます。					
研究計画概要	横断研究で後ろ向き観察研究です。「2.3.4 地域住民コホート 特定健診相乗り型 ベースライン調査 67K」と「3.1.1 地域住民・三世代コホート 宮城(20歳以上)ベースライン・第2段階調査 86K」の遺伝子情報と健康調査情報・医療情報の仮名加工された情報を利用します。 ベースライン調査と第2段階調査の双方に参加した縦断的データがある方を解析対象とし、調査票(生活)情報の服薬データの2時点比較により処方変更を定義します。統計解析は交絡因子(年齢、性別、既往歴、併存疾患、生活習慣、社会経済指標等)を調整した多変量回帰分析を予定しています。非線形性・相互作用を考慮するために交差検証で再現性を評価します。候補遺伝子解析で得た知見の補強および新規候補を探索します。					
利用するもの	対象: ☒ 地域住民コホート調査 ☒ 三世代コホート調査 試料: ☐ DNA ☐ 血漿 ☐ 血清 ☐ 尿 ☐ 母乳 ☐ 単核球 ☐ EBV不死化細胞 ☐ 増殖T細胞 情報: ☒ 基本情報 ☒ 調査票情報 ☒ 検体検査情報 ☒ 特定健康診査情報 ☒ 生理機能検査情報 ☐ メタボローム解析情報 ☐ マイクロバイオーム情報 ☐ 認知・心理検査情報 ☐ MRI画像解析情報 ☐ MRI画像情報 ☐ 全ゲノム解析情報(全て) ☐ 全ゲノム解析情報(特定領域) ☐ SNPアレイ情報(全て) ☒ SNPアレイ情報(特定領域) ☐ その他の情報(介護保険情報、医科レセプト情報)					
期待される成果	薬の服用の個体差に関連する遺伝子がわかると、適切な薬の選択や服薬支援につなげることが期待されます。					
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	研究計画は2026年3月10日に滋賀大学研究倫理委員会で課題名「味蕾関連遺伝子多型が薬剤感受性(服薬継続・用量調整)に与える影響の解明(B250021)」として承認されました。					
倫理面、セキュリティ面への配慮	研究は個人情報保護および研究倫理(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針)を遵守して規定の環境で解析されます。解析に用いるPCは、パスワードをかけたうえでインターネットに接続せずに使用されます。					
その他特記事項						
(事務局使用欄) * 公開日 令和8年7月30日 * 東北メディカル・メガバンク計画に協力された方で、本研究に関するご質問等がある方、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)						